

1 題材名「パンツはなぜはくの」

2 題材について

1年生が命の大切さを学ぶ時、命の存在を知ることから始めたい。本題材では、あさがおの生長や家族からの手紙を通して、命の存在に気付き、自らの体を守りたいという心や態度を育む学習とした。

生活科の学習で育てたあさがおが、ようやく芽を出した時や待望の花が咲いた時、子どもたちは花の命の誕生に大きな喜びを感じる機会となった。そこから、自分の命が生まれた時も同じような喜びがあったのかを知りたいという思いにかられる。本時では、家族からの手紙を読んで、自分の誕生の時、大きな喜びをもって迎えられたことを確認する。この喜びを友達と共有することで、一人一人の命は掛け替えのない大切なものだ実感することができる。

また、パンツで覆われている所には、命を生み出す器官があることを知らせ、自らの体を大切にする心や態度を身に付けさせたい。本題材では、担任と養護教諭とのTTの学習を計画した。

3 目標

自分や友達の誕生の喜びに触れることで、一人一人の命が大切なものであることに気付くことができるようにする。また、パンツで覆われている所には、命を生み出す大切な器官があることを伝え、清潔や安全に配慮しようとする心を育てる。

4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 生活科 「あさがおを そだてよう」
- (2) 特別の教科 道徳 A-3 節度、節制 B-7 感謝 D-17 生命の尊さ

5 指導展開例

□ : ねらい・課題 ■ : 学習内容 □ : 発問・指示など
T 1 = 担任 T 2 = 養護教諭

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>あさがおの芽が出てきた時は、どんな気持ちでしたか。</p> <p>花が咲いた時は、どんな気持ちでしたか。</p> <p>一粒の種に水をあげ一生懸命に世話をした、あさがおの発芽や開花の喜び思い起こす。</p>	<p>○T 1：生活科で育てたあさがおに着目させ、発芽や開花の喜びを思い起こさせる。あさがおの生長を支えた活動(あさがおのお父さん、お母さんとしてあさがおを守り育てた)を賞賛する。</p> <p>○水やりの活動や発芽、開花時の写真を見せる。</p>
展開1	<p>自分や友達が生まれた時は、どのように喜ばれたのでしょうか。</p> <p>赤ちゃんの命の誕生の喜びに触れる。</p> <p>あさがおの芽が出た時、嬉しかったですね。では、あなたが誕生した時はどうだったのでしょうか。</p>	<p>○T 2：赤ちゃん人形と一緒に教室に入り、赤ちゃんが生まれた時の喜びを紹介する。一人一人、命が生まれた時にとても喜ばれて生まれて来たことを伝える。</p>

<p>展開 1</p>	<p>誕生の喜びがつづられた、お家の人からの手紙を受け取り、自分の誕生の喜びを知る。</p> <p>手紙に書かれている、お家の人の嬉しい気持ちを教えてください。</p> <p>自分もクラスの友達も、それぞれが大切な命をもっていること。</p> <p>人の命のもととは、どこで作られるのかな？</p>	<p>○T 1：どのような喜びがあったかを家の方に書いていただいた手紙に期待をもたせる。</p> <p>○T 1：喜びの声を板書し、誕生の喜びを共有する。</p> <p>○T 2：手紙に書かれていた内容を、クラスの友達と共有させる。</p>
<p>展開 2</p>	<p>自分の体にも、命のもとができる所があることを知る。</p> <p>人の命のもととは、体のどこで作られるのか考えてみましょう。</p> <p>命のもとが作られる所は、命をつなぐ大切な役割をもつ器官であることを知る。</p> <p>男の子と女の子の服を取り、大切な役割をもつ器官を確認する。</p> <p>それぞれ大切な命のもとが作られる所を、パンツをはいて守っていることを知る。</p> <p>パンツをはくことの他に、人の命のもとが作られる大切な所を自分で守る方法を考えましょう。</p> <p>○清潔に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便の拭き方は前から後 ・お風呂では優しく洗う <p>○安全に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人を蹴ったり叩いたりしない。 ・他の人に見せたり触らせたりしない。 	<p>○T 2：人の命のもとが作られる所は、1年生にもあることを知らせる。</p> <p>○T 2：人の命のもとは、大切に守られている所にあることを知らせる。</p> <p>○T 1：体はどこも大切だけど、人の命のもとが作られるところは、特別に大切な所であるため、パンツをはいて守っていることを確認する。（※性器について具体的には触れない）</p> <p>○T 1：人の命のもとが作られる所を守る方法を考えさせる。</p> <p>○T 2：水着で隠れている所は、誰かが見ようとしたり、触ろうとしたら「いや」と言い、むやみに他の人に見せない、触らせないことが大切であることを知らせる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>今日の学習で分かったこと、思ったことを教えてください。</p> <p>自分も友達も大切な命をもっていること。</p> <p>人の命のもとが作られる所の清潔や安全に配慮すること。</p>	<p>○T 1：板書を使って学習を振り返り、児童たちの思いを膨らませる。</p> <p>◆自分も友達も大切な命をもっていることを理解している。</p> <p>◆命のもとが作られる所を、清潔や安全に配慮しようとしている。</p> <p>◆自分の体を大切にする方法を理解し、日常に生かそうとしているか。</p>

6 資料

【資料1】保護者からの手紙に関する配慮事項（学級担任との打合せの内容）

- ① 「あなたが うまれた ときのこと」の記入に当って、保護者の方に御配慮いただく事項
 - ・子どもに気付かれないようにする。
 - ・子どもが自分で読めるように、漢字は使わないようにする。
 - ・家族の方のどなたが書いてくださってもよい。
 - ・読む時間が限られているため、1枚に収まるようにする。
 - ・「命の誕生の喜び」の気持ちを、より具体的に伝えてもらう。（どの位・どのように…嬉しかった。）
- ② それぞれの家庭の状況に十分に配慮すること
- ③ 封筒や用紙の準備について
- ④ 配付・回収の方法について ※余裕をもって1か月前には依頼

【資料2】板書用資料例

- ①あさがおの発芽の写真
- ②あさがおの開花の写真
- ③あさがおの種
- ④全身の絵（男の子と女の子）洋服や下着が取りはずせるもの



【資料3】板書例

パンツはなぜはくの？

開花の
写真

あさがおの種

発芽の
写真

いのちのもと

みんなの
いのちの
たんじょう

ありがとう
げんきでうれしい
あえてうれしい
さいこうのじかん
なみだがでたよ
おおきくなって

みんなのきもち

いのちのもと ←

まもるために

あさがおの
いのちの
たんじょう

おおきくなってね
きれいにさいてね
げんきにそだって
うれしい

みんなのきもち

ありがとう
げんきでうれしい
あえてうれしい
さいこうのじかん
なみだがでたよ
おおきくなって

かぞくのきもち

○けったりしない

○たたいたりしない

○おふろでやさしく
あらう

○べんは、まえからう
しろにふく

○ほかのひとに
みせない

○ほかのひとに
さわらせない

72

1 題材名「冬も生きている」

2 題材について

2年生は夏の間のミニトマトの栽培を通して、野菜や植物を大切に育てる経験を積んでいる。水やりや雑草抜きなどの世話をし、種をまいてから実がなるまでの成長を見守っていく取組を通して、自分以外の命の存在に気付き、命を大切にしていける心や態度の育成を図っている。

児童はどんなに幼くとも、命は大切だということを漠然とは分かっているが、その大切さを意識し行動できるようになるためには、児童が自ら身の回りの生き物に働きかけていく体験的な学習が必要である。自分自身の命、他者の命、植物の命など、「命」の存在をより具体的に意識できるよう、自分の変化（成長）と身の回りの自然の変化（成長）を比べながら、体験を通して生命観をもたせるよう学習を進める。学習の題材とした冬の木や生き物は、短期間で大きな変化を表わすことはないため、長い時間をかけて「命」を見つめ、小さな変化（成長）に気付くことができるものの見方・考え方を育てていく。

3 目標

校木に関心を持ち、木や生き物に長い期間継続して働きかける活動を通して、成長の様子や季節をこえた命のつながりの大切さに気付く。

4 教科、領域等の内容的関連

(1) 単元構成

	教科・領域	学 習 内 容	目 標
1 2 ③	生 活	夏の木と冬の木に違いはあるかな？ 学校にある自然を見に行こう 冬の木は寒くないのかな？	・身近な自然に関心をもつ。 ・身近な自然の観察から生じた疑問を解決する意欲を高める。
4 5		本当に冬でも枝がのびるのかな？ 冬芽発見！	・冬の間、継続して校木を観察する活動を通して、春に向かう動植物の変化に気付き、新しい命の姿を見付けることができる。
6 7		落ちた葉はどうなったのかな？ 落ち葉の下に住む生き物がいるよ！	・木の周辺にも視野を広げ、冬の間生き物たちがどのように生きているかに関心をもつ。

(2) 学習を進める上での留意点

- ①本事例では校木を対象とした学習展開となっている。夏から秋にかけて剪定を行う木を対象として学習を進めるには、身近にあって、毎日、見たり触れたりすることができる街路樹や校木以外の木で学習を進めることもできる。
- ②冬に取り扱う単元ではあるが、夏の木の様子との比較が必要なので、一年を通して対象の木を観察、記録していく必要がある。
- ③観察の対象となる木の周辺の安全確認を十分に行う。

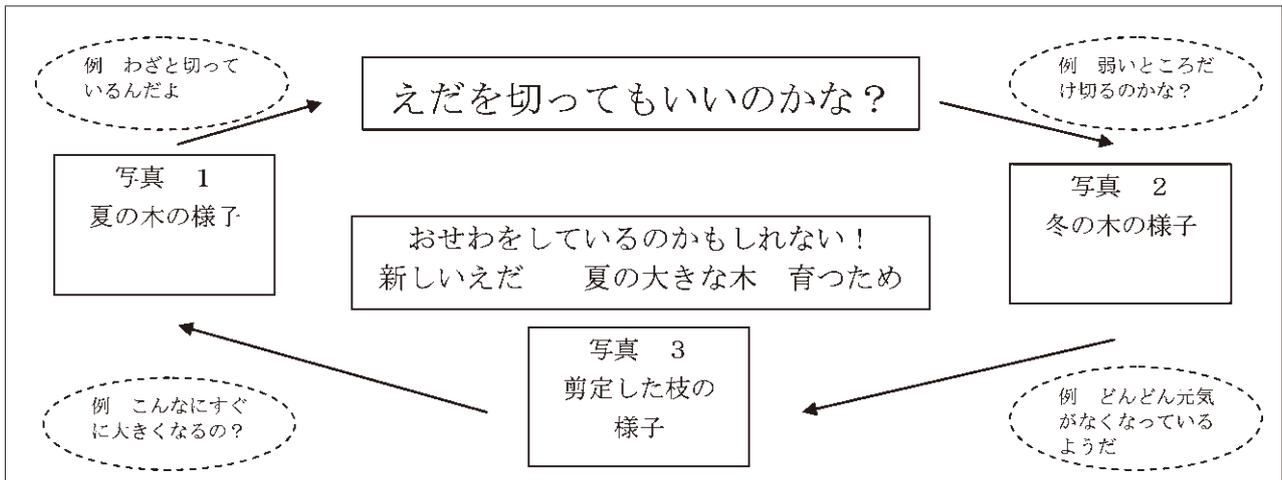
5 指導展開例

□:ねらい・課題 ▭:学習内容 ▭:発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>学校の周りを探検する。</p> <p>木や生き物は、冬の間どのようにしているのだろう。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 木の葉が枯れて減った。 枝が切られているようだ。 <p>この木は生きていいるのかな？ 素朴な疑問を出し合う。</p>	<p>○実際に木の様子を見てから本時を行うが、一度見に行っただけでは関心をもたせることが難しいため、児童が1年を通して学校周辺の植物に触れる体験をしておくことが必要。</p> <p>○夏の木の様子と冬の木の様子が板書で比較できるように、写真を提示する。</p>
展	<p>葉が落ちてしまっただけでなく、枝も切られている。姿を見て感じたこと、気付いたことは何かな。</p> <p>写真を見比べたり、実際に木を見た時の様子を思い起こしたりしながら冬の木の様子について気付いたことを発表する。</p> <p>同じ木でも季節によって姿が違うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 葉が全部落ちたから、枝の細いところは弱いのかもしれない。 夏の間たくさん枝を切っているところを見たよ。 	<p>○1か月ごとの変化が見えるように冬の木の写真を提示する。</p> <p>◆写真資料や実際に木を見た時の様子から、学校にある木の姿が季節によって変わっていることに気付いている。</p>
開	<p>夏の間は元気だったのに、枝を切ってもいいのかな？</p> <p>生活科カードに予想した内容を書き、木の命がどのようにつながっているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 切っていいところと悪いところがあるんじゃないかな。(人の爪や髪の毛のように) 枝は先に伸びるほど細くて折れやすいから、雪のせいで折れてしまうよ。 弱い部分を雪が降る前に切ってあげれば、夏までに強い木になれるかもしれない。 枝を切らない木もあるから、切らなければならないわけがあるんだよ。 <p>枝を切り落としたあとをもう一度見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さい枝が生えているよ。 新しい枝になるためなのかな。 <p>他の植物と同じように、木にも必要なお世話がある。</p> <p>新しい枝をつくるために切らなければならないのかもしれないよ。</p>	<p>○児童が使用できるように辞典や図鑑などの資料を準備しておく。</p> <p>◆夏の木の枝を切ることについて、自分の考えを表現している。</p> <p>○個々の考えを束ねながら、剪定した部分に着目させ、新しい枝が生まれていることに気付くようにする。</p>
まとめ	<p>新しい枝は、ちゃんと育っていくのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 枝を切った人に聞いてみたい。 木を毎日見て確かめたい。 	<p>○これから取り組みたいことを引き出し、次時の活動の見通しを立てる。</p>

6 資料

【資料1】板書例



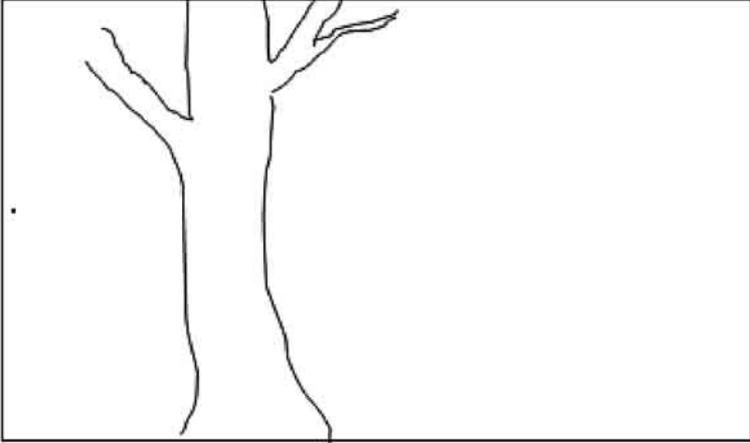
* 子どものつぶやきや疑問などを板書に表し、次の活動につながる言葉を残していく。

■せいかつかカード (例)

せいかつかカード

月 日 () 名まえ

木をまい日見に行くよ



...ぼくは、さむい冬でも、えだを切っても木は育っていると考えます。
なぜなら、あたたかい春がくるのを、じっとまっていると思うからです。
木さん、じゅんぴを、がんばってね。

小学校 赤ちゃんと自分～成長の喜び～

3年生

1 題材名「赤ちゃんと自分～成長の喜び～」

2 題材について

心も体も大きくなってきた3年生。2年生でも誕生の事について学ぶ機会がある。体の発育・発達とともにできるようになったことも増えた。物事の捉え方や考え方、感情の表現の仕方など、明らかに乳幼児の時とは異なっている。そこで、赤ちゃんと今の自分を比較し、「成長」というキーワードで心と体の発育・発達を確かめながら、ここまでの「成長」の「支え」となってくれた親や身近な人たちとの関わりに目を向け、「感謝」する心を育てるとともに、自他ともに大切にしなければならない掛け替えのない命であることに気付かせていく。なお、2年生で誕生の事について学習しているとともにさらに効果的である。

また、2年生で、この内容を扱ってもよいと考える。

3 目標

赤ちゃんと現在の自分を比べ心と体の成長に気付き、成長に伴った周囲の人たちの支えがあることに気付くとともに、自他ともに掛け替えのない命であることを実感し、他者への優しさや思いやりの気持ちをもつ。

4 教科、領域の等の内容的関連

- (1) 学級活動 「男女仲良く」 ・一人一人の考え方や物の見方が大事であることに気付き、協力し合っ
てできることを実践する。
- (2) 理科 「昆虫について」 ・人の成長と比べながら昆虫の成長を捉える。

5 指導展開例

□：ねらい・課題

■：学習内容

□□□：発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導 入	<p>実際の赤ちゃん人形を手にした後に、個人のカードをそれぞれ開いてみる。</p> <p>□赤ちゃんの時と今の自分の体の大きさを比べてみよう。□</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間でこんなに体重が増えている！ ・身長もすごく大きくなっている <p>□生まれてから1年間の成長グラフを見てみよう。□</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものすごく大きくなるのが早いんだね。 ・モンシロチョウは、卵→幼虫→さなぎ→成虫と形が変わっていたね。 ・バッタも同じだよ。 	<p>○赤ちゃん人形を抱かせて実際の重さを体験する。その後、赤ちゃんの時と比較した身長・体重の個人のカードを見て体の発育に気付かせる。</p> <p>○グラフで1年間の成長の大きさを確認。</p> <p>○理科の昆虫の学習と結び付けて考える。</p>
	<p>□「成長」するってどんなことかな？□</p>	

<p>展 開 1</p>	<p>できるようになったことを考えさせ、板書しながら考える視点をはっきりさせていく。</p> <p>赤ちゃんの時と比べてできるようになったことって何だろう？</p> <p>「体の成長」でできるようになったこと 「心の成長」でできるようになったこと</p> <p>できるようになったことをグループで考えて交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走れるようになった ・体が大きくなってできることが増えた ・言葉で表現できるようになった ・場面に合わせて道具を使ったり、行動したりできるようになった 	<p>○グループ交流の後、体の成長でできるようになったこと、知的発達によってできるようになったことを心と体に分けて板書してまとめていく。</p> <p>◆自分の心と体の成長について、理解したことをワークシートに書き出している。(発言やワークシート)</p>
<p>展 開 2</p>	<p>昆虫は自然と大きくなっていくけど、人間も同じかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親に育ててもらった ・一人で育ったわけじゃないな ・今の自分がいるのは親が守ってくれたから ・おじいちゃんやおばあちゃんやたくさん大人の友達に支えてもらった <p>人の成長には多くの人の支えや関わりがあること</p> <p>保育園・幼稚園の園長さんからの手紙を読む。</p> <p>園長さんから手紙が来ています。読みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい！ ・お世話になったんだなあ ・懐かしいなあ <p>一人一人に保護者からの手紙を渡して読むように促す。</p> <p>みんなのお家の人から手紙です。声に出さずじっくり読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい！ 感動だ！ ・涙が出ちゃう ・大事にされていたんだ ・心配かけたんだなあ ・大変だったんだなあ 	<p>○理科の学習と関連付けて考える。</p> <p>○身近な人とのつながりで幼少児期を振り返る。</p> <p>○身近な人との関わりで成長を実感できるように保護者以外で関わりがあった人からのお手紙を読む。(ビデオレターでもよい)</p> <p>○児童一人一人の保護者に手紙を書いてもらい、大事に育てられていることを気付かせる。</p> <p>※個々の家庭状況に十分配慮すること</p>
<p>ま と め</p>	<p>みんな一人一人が大切にされて、たくさんの人に支えてもらって、心も体も大きくなっていくんだね。</p> <p>一人一人で考える。</p> <p>これから友達やお家の人にとどう接していくかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝しなきゃ ・やさしくする 	<p>○自他の命を大切にする態度につなげる。</p> <p>◆身近な人々に対するやさしさや思いやりの気持ちを大切にしたい行動等についてワークシートに書き出している。</p>

【資料・教具】

- ・出生時と現在の体格（身長、体重）の差を視覚的に捉えられるよう工夫したカード（紙テープを使うなどしてグラフ化したもの）
- ・生まれてから一年間の成長曲線グラフと赤ちゃん人形
- ・保育園・幼稚園職員及び各保護者からの手紙（他者からの喜びの声で成長を実感できるようにする）
- ・ワークシート

1 題材名「男女の協力を大切に」

2 題材について

明るく元気な3年生。しかし、場面をあまり考えず、自分の気持ちを優先させるあまり、場に応じた適切な言動が取れない子が多くいる。また、やる気が空回りしてしまい、誰かのためではなく自分がやったという満足感だけで動くことが多い。場に応じて適切な言動を取れるようになってほしいと願う。そこで、中休みの遊びの場面という具体的な場面の様子をクローズアップして、それについて考えていくことで、男女の関わりについて、どんな姿を目指していけばよいのかを考え、最終的には男女という特性にかかわらず、一人一人の考えが大事であると気づき、学級みんなで実践していけるようにしたい。

3 目標

学校生活での様々な活動を振り返って自分の姿を想像し、男女の協力、さらには、一人一人の協力が重要であることに気づき、自分たちから進んで関わり合う姿を想像し実践していけるようにする。

4 教科、領域の等の内容的関連

(1) 学級活動 「赤ちゃんと自分～成長の喜び～」

- ・赤ちゃんの時と比べて、できるようになったことを心と体の成長と合わせて考え、できることを実践していく。

(2) 特別の教科 道徳 B-6 親切、思いやり B-9 友情、信頼 B-10 相互理解、寛容

C-12 公正、公平、社会正義 C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実

5 指導展開例

□：ねらい・課題

■：学習内容

□□□：発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導 入	<p>学級の様々な活動場면을振り返りながら遊びの場面に焦点をあてる。</p> <p>□学級遊びでの活動場면을振り返ってみよう。</p> <p>□〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女で関わっていないなあ ・男子が外で遊んでる ・女子は誘ってもこない ・いつもボール遊びしかしてない ・男子は乱暴！ 女子はおとなしすぎ！ ・授業では一緒に活動できるのに… ・掃除や給食当番も… 	<p>○事前に、中休みの遊びの場面や授業での場面など具体的な場面を通して協力につながる質問項目や男女をあえて意識した質問を設定したアンケートをとっておく。</p>
展 開 1	<p>グループで自由に考えを交流させる。</p> <p>□どうして一緒に遊ばないのか、男子と女子の立場で考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だって男子ってさ… ・女子はさ… ・ボールが怖いし、男子って勝手だもん！ ・女子はいつもグループで過ごしている！ 	<p>○男子と女子の立場に分かれて考える。</p> <p>○理由を男女に分けて考えさせ、男子だから…、女子だから…という視点でまとめ、体の成長のことや興味のことなどを中心にお互いを理解していけるようにまとめていく。</p>

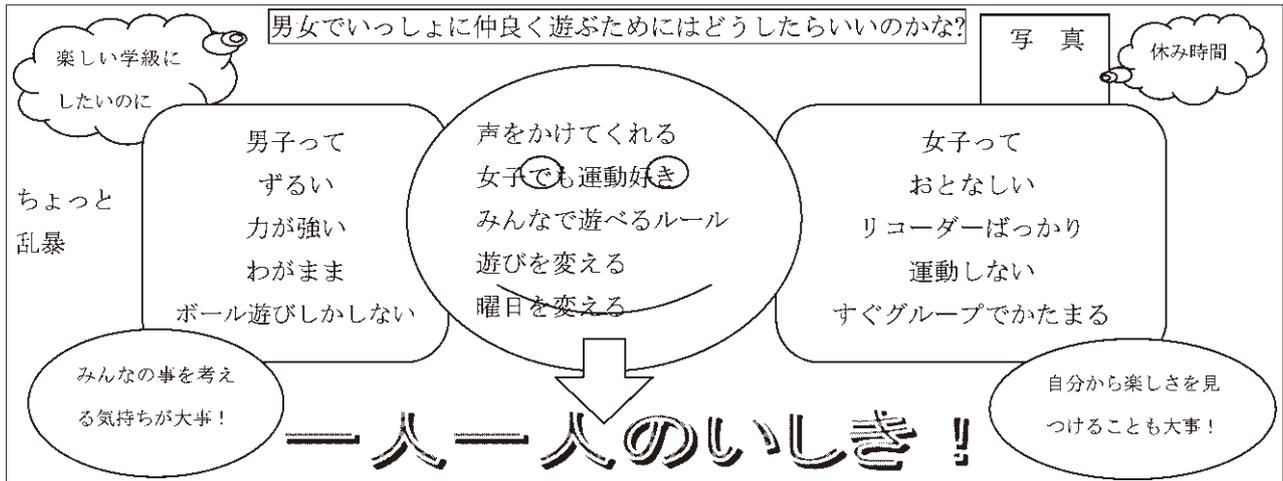
展 開 2	でも、本当に男女の問題なのかな？	<ul style="list-style-type: none"> 男子でも本を読んだりリコーダーが好きな人いるなあ。 係の仕事もしたい人があるんじゃない？ 女子だって外で遊んでる！ <p>工夫できるように考える視点を絞っていく。</p> <p style="text-align: center;">原因は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊び方がいつも同じだから一緒にできない…。 誰でも楽しめるようなルールを作ればいいのか？ 遊び方やルールを考えたらいいのか？ 遊びたいけど…遊び方が違うから！ みんなで関わったほうがいい！ 仲良く遊んで楽しい学級にしたい！ <p>グループになって案を出し合う。</p> <p style="text-align: center;">みんなと一緒に遊ぶにはどうしたらいいかな？</p> <p>曜日・ルール・遊び方など考える視点をはっきりさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなができる遊びを考える。 全員遊びをする。 ・ 曜日を定める。 お誕生日にその人のやりたい遊びをする。 	<p>○男子や女子というひとくくりから個に目を向けさせていく。</p> <p>○そこで、関わることのよさや必要性を話し、なかよく遊べる方法を考えていく。</p> <p>◆男女の協力、一人一人の協力の重要性をワークシートに書き出している。</p>
	一人一人の事を考えて遊び方を工夫したら男女一緒に遊べるね。	<p>実践する意欲をもたせるためにその後を想像させる。</p> <p style="text-align: center;">実践したらどんな学級になるか考えてみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで決めたことだから、ちゃんと参加しよう！ ちょっと不安だな。 ・ はやくやりたいな。 <p style="text-align: center;">男女に関わらず、一人一人が協力することで楽しい学級をつくることできる。</p>	<p>○実践できたら楽しくなるということを想起させ意欲につなげる。</p> <p>○実践したらどんな楽しいことがあるか具体的に話して楽しいイメージを膨らませる。</p> <p>○「こんな学級にしたい」という目標につながるようにする。</p> <p>◆進んで実践しようという思いになっているか。</p>
ま と め			

※休み時間等に男女が仲良く遊ぶことの少ない学級を想定した展開であるが、学級の実態によっては、「好きな遊びアンケート」等を実施し、男女の遊びの好みの違いをきっかけにした展開なども考えられる。

【資料】

- ・ 日常の生活の様子（掃除・遊び・グループでの活動など）
- ・ 学級の様子についての事前アンケート（シート①）
- ・ グループで解決策を話し合うワークシート（シート②）

【板書例】



【シート① (例)】

3年〇組 アンケート

男子といえば? ずるい 力が強い わがまま など	女子といえば? おとなしい 運動しない など	3組のよさは? 声をかけてくれる 歌が上手 など	どんな学級にしたいですか? 男女仲良く、協力でき る学級 など
--------------------------------	------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------

- ・学級は楽しいですか? はい いいえ
- ・給食時間は楽しいですか? はい いいえ
- ・休み時間は楽しいですか? はい いいえ
- ・休み時間は男子とも女子ともかかわっていますか? はい いいえ
- ・休み時間は体を動かして遊んでいますか? はい いいえ
- ・授業中はだれとでも活動していますか? はい いいえ
- ・休み時間はだれとでも遊べますか? はい いいえ
- ・どんなときが楽しいですか? 友達とけんかをしないで遊べたとき

【シート② (例)】

3年〇組 なかよし大作戦!

みんなで遊ぶためにできることは?

楽しい学級にするために
アイデアを出し合おう!!

どんな遊びがいいかな?	ルールはどうしたらいいかな?	いつ遊んだらいいかな?
てつなぎおに	同じ子がおににならないようにする	休み時間
ドッジボール	同じ子ばかりにボールがいかないようにする	放課後
など	など	など

1 題材名「こんにちは わたしの思春期」

2 題材について

(1) 設定の理由

児童は、4年生になると思春期の入り口にさしかかり、女子を中心に思春期に起こる体の変化が現れ始める。しかし、個人差が大きい時期であるため、体の変化に不安や悩みを抱えたり、友達との違いが気になったりする児童も多い。それは、体の変化とともに、自我の発達により心の変化も同時に現れてくるためであり、大人になることへの不安や憧れが複雑に入り交じっているからである。

10歳は生まれてから成人になるまでの折り返しに当たる年齢である。そこで現在の自分を中心として、体だけではなく心や行動の成長にも目を向けさせたいと考えた。これまでは家族や周りの人たちに支えられ、守り育てられてきた児童に、この学習を通して、将来の命を育むための準備が自分にも始まっていくことを意識付けたい。そして、未来に向かって体とともに心も成長していくことの大切さについて考えることを通して、自他の性を肯定的に捉え、共に成長を喜び合う態度を育てたいと願い、体育（保健領域）と道徳の時間を組み合わせて題材を構成した。

(2) 題材構成

	教科、領域等	題材名	目 標
1	体育 〔保健〕	「育ちゆく体 とわたし」	<ul style="list-style-type: none"> ・体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた生活習慣が必要であることに気付き、実践しようという意欲をもつ。 ・思春期に起こる体の変化や異性への関心について考え、体の発育・発達には個人差や性差があることを理解する。 ・思春期に起こる男女の体の変化は、命を育むための大切な準備であることを知り、自他を大切にしようとする。
2			
3	<本時>		
4	<本時>		

3 目 標

- ・体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた生活習慣が必要であることに気付き、実践しようとする意欲を高める。
- ・思春期における体の変化や異性への関心について考え、体の発育・発達には個人差や性差があることを理解する。
- ・男女の体の違いを理解し、思春期になると将来、命を育むための準備が始まることを理解する。

4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 学級活動 「男女仲良く」
- (2) 道徳 A-4 個性の伸長 B-7 感謝

5 指導展開例

□：ねらい・課題 ▨：学習内容 □：発問・指示など

※本時は2時間続きの学習が効果的であると考え、90分を想定した展開例を示した。

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>思春期に起こる体の成長や変化にはどのようなものがありましたか。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 身長や体重が増える 胸がふくらむ 毛が生える 声変わりをする ニキビが出る 	<p>○体つきの変化について想起させる。</p>
展開	<p>体の中の仕組みには、男女の違いはあるのかな？</p> <p>男女の体の中を調べてみよう。</p> <p>教科書を手掛かりにしてグループで相談し、器官の名前や働きをワークシートに記入する。(学習カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓、肺、腎臓、腸…男女同じだ ちがう器官があるよ 何だろう？ <p>男女で違う器官は、どのような働きをしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子宮」は赤ちゃんが育つ部屋だね 男子も「命のもと」をもっているんだ <p>「生きるための器官」は男女に違いはないが 「命を生み出す器官」は男女に違いがある</p> <p>男女の「命を生み出す器官」の成長と働きを知ろう。</p> <p>「月経」の仕組みを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子宮は卵子のためにベッドを用意するんだね いらなくなったベッドが月経なんだね <p>「精巣」の働きを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 精子が作られ始めるのかな 精子も卵子のように外に出るのかな <p>「射精」の仕組みを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卵子と比べると数が大きく違うね <p>「初経」や「精通」は、自分たちが次の命を育むための準備が始まった印である</p> <p>男子の「精通」や女子の「初経」は、いつ起こるのでしょうか。</p>	<p>○思春期になると今まで眠っていた「命を生み出す器官」が働き始めることを知らせる。</p> <p>○自分の成長に前向きな考えができるように、思春期に起こる体の変化は成長過程の一つであることをおさえる。</p> <p>○精子と卵子の数の違いに焦点を当て、学習を広げてもよい。</p> <p>*説明例参照</p>
	<p>精通や初経はいつ起こるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年生位から女子で始まる人がいる 女子の方が早く変化が始まるのかな 思春期は女子の方が体が大きいから早い 個人差がある 	<p>○教科書のグラフ資料を活用して考えさせる。</p> <p>○個人差があることを確認する。</p> <p>◆命を育むための準備のため、思春期に体の変化が起こることを理解しているか。</p>
	<p>今日の学習で分かったことや感想を書きましょう。</p>	<p>◆思春期に男女の体の変化が起こる意味から、自他を大切にしようとしているか。</p> <p>○次回は思春期の心や行動の変化について学習することを伝える。</p>
まとめ		

【資料】学習カード

※自分の体で育った赤ちゃんを産むとき、体の「スイッチ」がオンになり、男性ホルモンの働きで精子を作ります。精子は卵とくっついて、赤ちゃんが生まれます。

女子の体の器官	名前	はたらき
	らんし	赤ちゃんが育つへや
	しきゅう	女子の「らんそう」にあるもの
	らつ	らんしが育つところ
	らんそう	赤ちゃんが生まれるときの通り道

※自分の体で育った赤ちゃんを産むとき、体の「スイッチ」がオンになり、女性ホルモンの働きで卵を作ります。卵は精子とくっついて、赤ちゃんが生まれます。

男子の体の器官	名前	はたらき
	せいし	せいの通り道
	いんけい	せいが育つところ
	せいそう	男子の「せいそう」にあるもの

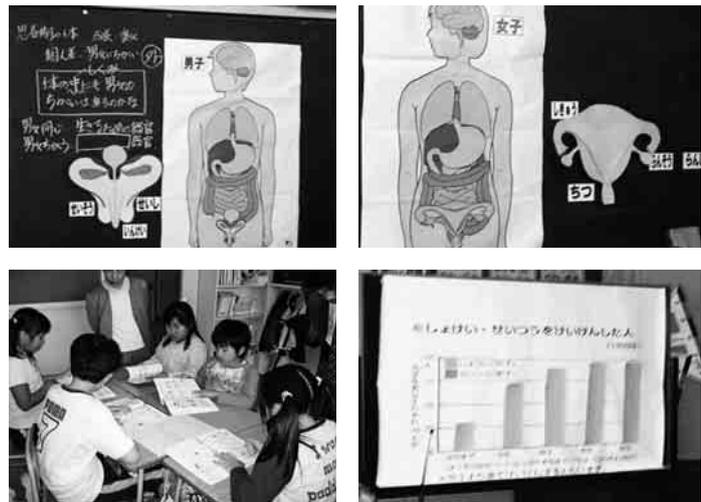
※自分の体で育った赤ちゃんを産むとき、体の「スイッチ」がオンになり、男性ホルモンの働きで精子を作ります。精子は卵とくっついて、赤ちゃんが生まれます。

※自分の体で育った赤ちゃんを産むとき、体の「スイッチ」がオンになり、女性ホルモンの働きで卵を作ります。卵は精子とくっついて、赤ちゃんが生まれます。

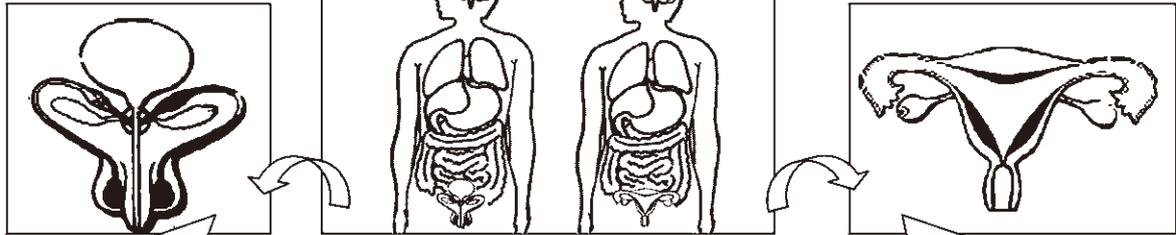
※自分の体で育った赤ちゃんを産むとき、体の「スイッチ」がオンになり、男性ホルモンの働きで精子を作ります。精子は卵とくっついて、赤ちゃんが生まれます。

※自分の体で育った赤ちゃんを産むとき、体の「スイッチ」がオンになり、女性ホルモンの働きで卵を作ります。卵は精子とくっついて、赤ちゃんが生まれます。

など



説明例



※射精“説明例”

T: 男子にも赤ちゃんの頃から精子のもとがありました。思春期のある日、脳にパチッとスイッチが入って男性ホルモンを出せ！と命令が出ると、男性ホルモンが働いて本格的に精子を作り始めるのです。その数はなんと一日に約数千万個です。

C: 一日に数千万個も？爆発しちゃうよ！

T: 卵子は一生のうちに400個くらいしか育たないから、数がずいぶん違うね。

C: どうして卵子とそんなに数がちがうのかな？大きさがちがうからかな。卵子は時間をかけて育てるからあまり数ができないのかな。

T: 精子はたくさん作られ始めると、陰茎を通過して外に出ようとします。それを「射精」といい、初めての「射精」を「精通」といいます。

C: 男子にもそんな変化があるんだね。僕の場合はいつ働き始めるのかな

※月経“説明例”

T: 女子は自分が赤ちゃんの時から卵巣で卵子をずっと育てていました。思春期のある日、脳にパチッとスイッチが入って女性ホルモンを出せ！と命令が出ると、女性ホルモンが働いて、1か月に1個だけしっかり育った卵子が卵巣から飛び出します。卵子はどこに飛び出すと思う？

C: 赤ちゃんは子宮で育つから子宮かな？

T: 卵子が子宮に来たと分かると、子宮は赤ちゃんが安心して育つように何かを用意します。明日赤ちゃんが来るかもしれないというとき、みんなだったら何を用意する？

C: ミルク！お風呂かな？ベッドじゃない？

T: 子宮の内側は栄養たっぷりの血液をためて、ふわふわのベッドを作るのです。でも卵子が赤ちゃんに育つのはみんなが大人になってからのこと。赤ちゃんにならなかった卵子は外に出て、ベッドも壊れて膣を通過して外に出ていきます。それを「月経」、または「生理」といい、初めての「月経」を「初経」といいます。女子は一生のうちに約400個の卵子を育てるよ。

1 題材名「命のバトン」

2 題材について

4年生になると、児童は思春期にさしかかり、男女それぞれの体つきに変化が現れ始める。また、体育(保健領域)の学習で児童は、体つきだけでなく体の中でも変化が起こることを学習し、それらが命を育むための大切な準備であることも理解している。しかし、これらの変化は個人差もあり、自分たちのこれからの成長に関心をもっているものの、不安を抱いている子も少なくない。

本時では、自分たちの命がたくさんの人の命とつながっていることに注目し、多くの愛情を受け継いだかけがえのない命であることに気付かせ、自分の体や命を大切にする気持ちを育てたい。そのうえで、思春期における体の変化について振り返り、次の命をつなぐ大切な仕組みであることを実感させ、自分や友達の成長を肯定的に受け入れられるようにしたいと考え設定した。

3 目標

- ・自分の命は、多くの愛情を受け継いだ掛け替えのない命であることに気付く。
- ・思春期における体の変化は命を育む大切な仕組みであることを知り、自分や友達の成長を肯定的に捉える心をもつ。

4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 体育(保健)「育ちゆく体とわたし」
- (2) 総合的な学習の時間 1/2 成人式

5 指導展開例

: ねらい・課題

: 学習内容

: 発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	母親のお腹で育ってきたことを確認する。 みんなは誰から生まれてきたのかな。 ・お母さん！ 家族と自分とのつながりを探す。 家族の“だれ”の“どんなところ”が似ているのかな。 ・お父さんの目と似ているよ ・足の形はおじいちゃんとそっくりだよ	○事前学習として、家庭で聞き取る活動を取り入れてもよい。
展開	お母さんから生まれてきたのに、他の家族と似ているのはどうしてだろう？ どうして似ているところが出てくるのかを考え、発表する。 家族で似ているところがあるのはどうしてかな。 ・食べているものが同じだから ・同じような生活をしているから	

展 開	<p>・お父さんの命のもとも、もらっているから 今までの学習を振り返る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">命の誕生について考えてみよう。</p> <p>・お父さんの命のもとも、お母さんの命のもともがひとつ になって、命が生まれるんだね。 担任の家系図を例に、命のつながりを考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">お父さんやお母さんは、誰に似ているのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃんと似てるなあ ・家族がどんどん増えていくなあ ・命はずっと続いているんだね <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・命はつながっている ・たくさんの人に大切に育てられてきた命 </div> <p>これからの命のつながりを想起する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">家系図は、これからどのように続いていくのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちがつなげていくんだね ・大人になってからじゃないかな <p>思春期における体の変化について復習する。 (精子、卵子、精通、初経など)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">命をつなげているものは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精子や卵子が命のもとなんだ ・大切な変化なんだね <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> 自分たちに起こる変化＝命をつなぐ大切な仕組み </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 家族と似ているところがあるのは、たくさんの命を受け 継いでいるからなんだね。その命をつなぐ準備が、私 たちも始まっているんだね。大切にしていきたいな。 </div>	<p>○父親もしくは母親のみの家庭について も、命が誕生する時には両方の命が存在 していたことを理解させる。</p> <p>○黒板に家系図を書く。</p> <p>○自分たちは、母親以外にもたくさんの 人の愛情で育ってきたことを理解させ る。</p> <p>○自分たちに起こる変化は、かけがえの ない命をつなぐ大切な仕組みであるこ とを実感させる。</p>
	ま と め	<p>学習カードに記入し、発表する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">今日の学習で分かったことや感想を書きましょう。</p>

6 資料板書例

お母さんから生まれてきたのに、他の家族とにているのはどうしてだろう？

赤ちゃんーお母さん

<家族とにているところ>

だれ	どんなところ
お父さん	目
おじいちゃん	足の形
・	・
・	・
・	・

- ・食べ物と同じ
- ・生活が同じ
- ・
- ・
- ・お父さんの命のもと

たくさんの命を受けついでいるからだね。
その命をつなぐ準備が、私たちも始まっているね。

1 題材名「いのちの輝き」

2 題材について

本題材は、人の誕生の仕組みについて調べる活動を通して、生命の連続性のすばらしさを感じ、生命を大切にしようとする態度や心情を育む学習である。これまで児童は、メダカの誕生に雌と雄が必要なことや、受精によって卵が成長を始め、やがて稚魚が生まれることを学習している。その過程で、生まれた子どもが次の世代へと生命をつなげていることを理解している。しかし、人の母体内での成長については、児童にとって未知なことがほとんどである。そこで、人の誕生や人の受精卵の母体内での成長に関心を持ち、生命誕生の仕組みを正しく認識できるように、本題材を設定した。

「人のたんじょう」は、直接的な観察や実験が困難である。そこで、図書資料や映像資料を活用したり、養護教諭、専門医、学校医などに聞き取りをしたりして調べ学習をすることが、正しい認識に導いていく一助になる。また、道徳の時間と組み合わせて、生命を大切にしようとする態度や心情を深めていくようにする。

3 目標

- ・人の誕生について、調べ学習の見通しをもつことができる。
- ・人の受精卵が母親の体内で育つ様子について、自分の課題をもち、調べ学習を進めることができる。
- ・調べたことを基にして発表資料を作成し、発表したり聞いたりしながら、生命の連続性を感じることができる。

4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 道徳 D-19 生命の尊さ
- (2) 単元構成

	教科・領域	題材・主題名	目 標
1 ② ③ 4 5	理 科 〈本時〉	「人のたんじょう」	<ul style="list-style-type: none"> ・人の誕生について、調べ学習の見通しをもつことができる。 ・人の受精卵が母親の体内で育つ様子について、自分の課題をもち、調べ学習を進めることができる。 ・調べたことをもとにして発表資料を作成し、発表したり聞いたりしながら、生命の連続性についての見方や考え方を深めることができる。

(3) 助産師との連携

- ① 事前打ち合わせ会で、児童や地域の実態を交流し、それに応じて、学習内容を調整・変更する。
- ② 理科の教科書を見て、指導内容を検討し、取り扱うべき内容を明確にする。
- ③ 助産師と、T1・T2……の役割分担を明確にしておく。

5 指導展開例

□：ねらい・課題 ▣：学習内容 □：発問・指示など

※本時は2時間続きの学習が効果的であると考え、90分を想定した展開例を示した。

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>人の卵の母体内での成長について、調べることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卵が育つ母体内の場所 ・養分の取り入れ方 ・受精した卵の変化の順序 ・おなかの中の赤ちゃんの様子 <p>助産師の仕事内容を知る。</p> <p>助産師は、どんな仕事をするのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちも、お世話になったんだね ・生命に誕生に関する、専門家だね 	<p>○インタビューの見通しをもたせるために、助産師を紹介する。(T1)</p> <p>○助産師(T2)は、自分の仕事について紹介する。</p> <p>○図書や映像資料、助産師へのインタビューなど、調べる方法について、見通しをもたせる。</p>
展開	<p style="text-align: center;">生命の誕生について、助産師さんから学ぼう</p> <p>それぞれのテーマについて資料や助産師へのインタビューを活用して調べ、学習カードにまとめる。</p> <p>テーマ例1</p> <p>受精は、どんなことなのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性と女性に関わり合っている ・女性には子宮という臓器がある ・受精への道のりは、大変だ <p>テーマ例2</p> <p>受精卵は、どのように成長していくのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、とても小さいね ・だんだん、人間らしくなるんだね ・動くこともあるんだね ・どんなふうに、栄養をとるのだろうか <p>テーマ例3</p> <p>出産とは、どんなことなのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんは、どんな気持ちなのかな ・胎児は、おなかの中で何をしているのかな ・助産師さんは、どんなことをするのか <p>テーマ例4</p> <p>新生児って、どんな感じかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意外と大きいね。 ・いろいろ、お世話をしなくては…。 ・ぼくの弟はね…。 <p>人は、小さな受精卵から始まる。そして、お母さんのおなかの中で、大きな変化をしながら、成長していく。</p>	<p>○T1は、それぞれの調べ学習の状況を把握し、調べ方について助言するなどの支援を行う。</p> <p>○T2(助産師)は、それぞれのテーマに関わる質問に答えるなど、児童が正しい知識に基づいてまとめを行うことができるよう支援する。</p> <p>◆受精の仕組み、受精卵の成長について理解したことをワークシートに書き出している。</p>
まとめ	<p>生命の誕生の大切さについて考える。</p> <p>生命の誕生って、どんなことなのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つないでいくこと ・協力し合うこと ・責任がともなうこと 	<p>○助産師との調べ学習から感じたことを交流させる。</p> <p>◆調べ学習を通して、生命誕生の大切さを、感じ取ることができたか。</p>

留意点

- ① 受精の仕組みを調べるときには、映像資料を活用すると分かりやすい。
- ② 出産について調べるときには、あらかじめ用意した胎児の心音を聞かせると、生命誕生の時の、臨場感に迫ることができる。
- ③ 新生児について調べるときには、赤ちゃん人形を活用するとよい。
赤ちゃん人形は、保健センターに問い合わせると、借用が可能である。ただし、日数に余裕をもって依頼する必要がある。
- ④ まとめの段階で、命の大切さを実感することができる資料（詩など）を提示するなどの工夫が考えられる。

【資料】

調べ学習の時の学習カード（例）

（例）

<h1>命の輝き</h1> 5年 組 名前
<h2>調べること</h2> <p>受精のしくみについて 受精卵の成長について など</p>
<h2>調べたこと</h2> <p>・男性と女性がいないと受精しない。 ・女性には子宮という赤ちゃんが育つところがある。 ・一つの卵子と結び付くために、たくさんの精子が競争する。 など</p> <p>・はじめは、目に見えないくらいとても小さい。 ・だんだん、人間らしくなっていく。 ・動くこともある。 など</p>
<h2>生命の誕生について、考えたこと</h2> <p>・命のバトンがつながれることだと分かった。 ・男性と女性が協力し合うことが大切だと思った。 など</p>

1 題材名「異性の友達」

2 題材について

高学年になり、体の変化とともに、自我の発達により心の変化も表れてくる時期である。また、児童たちの中には、異性を意識した言動が表れ始める時期である。体育（保健領域）の学習において、4年生では「体の変化」、5年生では「心の変化」について理解している。これが現実に関自分の体や心に起こっていることとして理解させたい。また、異性としての意識は肯定的に捉え、相手の立場を尊重しながら異性と接していくことの大切さを理解し、お互いを尊重しながら生活していく意識を育みたい。

3 目標

- ・思春期の体と心の発達についての理解を基に、現在の学校生活を振り返ることにより、互いに尊重し、協力し合って生活しようとする態度を身に付ける。

4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 特別の教科 道徳 B-10 友情、信頼

5 指導展開例

□：ねらい・課題

■：学習内容

□□□：発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導 入	事前に集計したアンケートを活用する。 □ アンケートを見てみましょう。 □ アンケートを見て、これまでに同じような経験をしたことや周りでこんな姿を見たことはあるかな。その時、どんなことを感じたかな。	○アンケートの活用 児童の実態に合わせて内容を取り上げる。メールやチャットなど学校外でのトラブルや特定の誰かについての悩みが挙げられることも考えられる。特定の子どもがあげられている場合や内容によっては、取り上げ方に十分配慮することが必要である。 ○児童が共感でき、自分たちの手で解決できる内容を取り上げる。 ○日常の様子を写真に記録しておく等、具体的な場面を想起させる。 ○自分だけではなく、同じような悩みをもっている友達がいることに気付かせる。
	□ この悩みを解決するためにはどうしたらよいだろう？ □ 同じような悩みをもっている人がいますね。では、この悩みを解決するためにはどうしたらよいですか。	

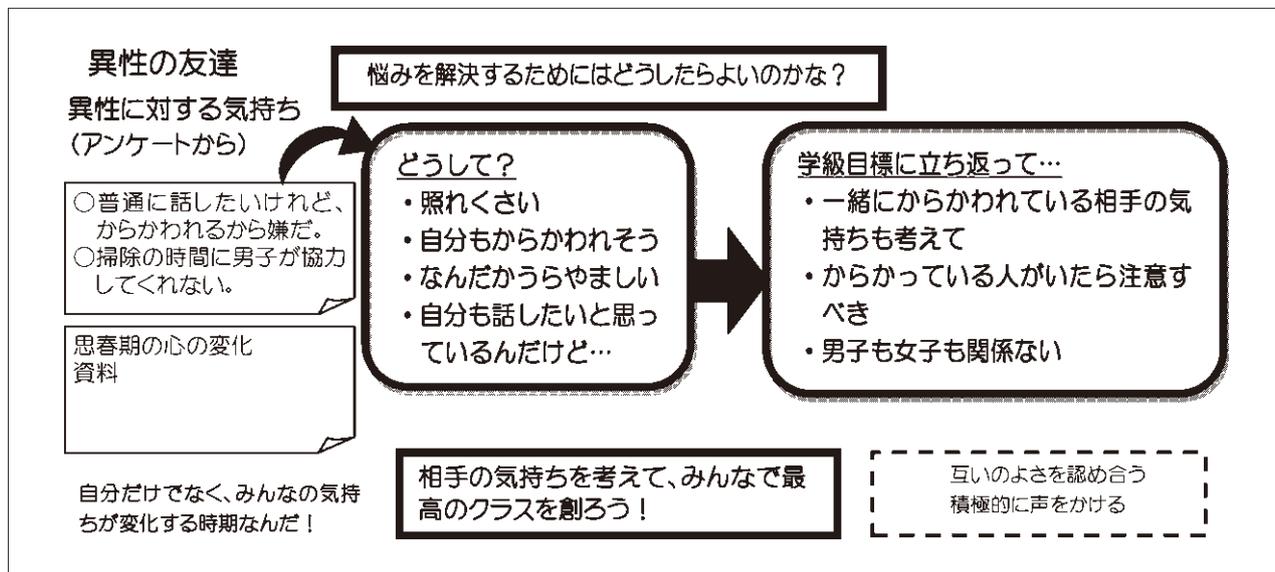
6 資料

【アンケート項目】

○異性に対して思うことは？

「ここが素敵」、「もっとこうしてほしい」「こんなことで困っている」など、具体的な場面を挙げて感じていることを書こう。

【板書（例）】



【ワークシート（例）】

異性の友達

○アンケートから、気になることはあったかな？

- ・「普通に話したいけれど、からかわれるから嫌だ」とあったけどぼくには、気になる女子がいて、気が付いたらいじわるをしていることがあります。など

○悩みを解決するためにはどうしたらいいかな？

もしも自分だったら…

- ・友達に相談するとよいと思うけど、勇気がない。など

周りの人だったら…

- ・気軽に声をかけて、いろいろな話をしているうちに「あの子の事、気にならない」などといって、話をそちらの方にもって行って、相談にのってあげる。など

年 相
名前

今後の自分のめあてを考えてみよう！

(いつ、どのように、何をやるのが具体的に書くことでレベルアップにつながるよ)

2週間のうちに、勇気を出して、友達に相談する
など

振り返り	
6月 5日	・どんなふうに友達にうちあげたらよいかといろいろ考えた。
6月 9日	・相談するタイミングと場所に迷ってしまう。
月 日	
月 日	

小学校 安全なコミュニケーション

6年生

1 題材名「安全なコミュニケーション」

2 題材について

児童にとって身近な存在となった、インターネットによる様々なコミュニケーション手段が発達する一方で、悪質な情報の氾濫や SNS 等を通じた犯罪なども起きている。この時期、スマートフォンやタブレット端末、ゲーム機などでインターネットを利用している児童も少なくない。実際に利用しているインターネットの危険性について知ること、児童が自分で適切に情報を活用し、性犯罪等から安全を守ることができるような態度を育むための第一歩としたい。

3 目標

- ・インターネットの利便性と危険性を理解し、自ら適切に判断して使おうとする態度を身に付ける。

4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 特別の教科 道徳 A-1 自主、自律、自由と責任

5 指導展開例

□：ねらい・課題

■：学習内容

□□□：発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導 入	<p>みなさんは、どんな時にインターネットを利用していますか。</p> <p>・調べもの ・メール ・ゲーム ・チャット ・テレビ電話</p>	<p>○「ネットモラルけんてい」を実施するなどし、子どもの実態を把握するとともに、学習後の変容を見取ることも考えられる。</p>
	<p>事前に集計したアンケートを提示する。</p> <p>アンケートを見てみましょう。多くの人がい ろいろな方法で利用していますね。</p>	<p>○多くの児童がインターネットを利用し、メールやゲームのチャット機能を使って楽しんでいること、私たちの生活を便利なものにしてきていることを想起させる。</p>
	<p>インターネットは、相手の名前や住所がわからなくても連絡し合える良さがある一方で、不特定多数の人と連絡が取れてしまう。</p>	<p>○これまでに経験していることがあれば、話題提供させる。</p>
	<p>知らない人から友達になろうと誘いがきたり、ゲームのチャット機能で連絡がきたりしたら、どうしますか。</p> <p>・「ごめんなさい」と丁寧に返信する。 ・チャットぐらいなら、一緒にやってみる。</p>	<p>○札幌市立学校ネットワークのコンテンツ「事例で学ぶ Net モラル」のアニメーション教材を活用してもよい。</p> <p>○断ることはよい対応に見えるが、返信するとさらに連絡が来る可能性がある。</p>

	<p>実際に起こったトラブルを事例に挙げて、その危険性について知る。</p>	<p>○総務省インターネットトラブル事例集を活用する。また、携帯やネット回線を提供している会社等でも出前授業が行われているので活用したい。</p>
展 開	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">トラブルに巻き込まれないためには、どうするとよいか？</p> <p>原因を探り、解決の糸口を学級全員で見つける。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">どうして、トラブルになってしまったのかな？ 事例をもとに、その原因について考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい人だと思ったから。 ・共通の話題や悩みをもっていて、相談してみようと感じたから。 ・軽い気持ちで…。 <p>事例の結末について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一度ネットに流出した情報は、完全には消えない。 ・性被害に遭うことがある。 ・発信した場合には記録が残っている。 ・被害者にも加害者にもなる危険性がある。 </div> <p>利用の仕方について考えさせ、話合う。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">どのように利用することで、トラブルを防ぐことができるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人から連絡が来ても返信しない。 ・保護者の方と約束事を決めて利用する。 ・何かあった時には、大人に相談する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>約束を決めて、何かあった時にはすぐに大人に相談することで安全に利用することが大切だ。</p> </div>	<p>○何気なく使っているインターネットも危険性があることを知った上で、利用の仕方について話合う。</p>
ま と め	<p>今日の学習を生かして、これからのインターネット利用について考え、発表する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自分のインターネットの利用の仕方を振り返り、何をどのようにしていくのか決めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使う時間と場所を親と一緒に決める。 ・知らない人から連絡があった場合は、親に知らせる。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">今日学習したことは、おうちで保護者の方ともお話ししましょう！</p>	<p>○どのように取り組んでよいか分からない児童たちには、展開後半で話し合ったことを参考にさせたり、発表を聞いて選ばせたりする。</p> <p>○自分で決めた取組について書いたプリントを保護者の方にも見せるようにし、家庭の協力をお願いする。また、懇談会等の活用も考えられる。</p> <p>◆安全に情報社会を生きるためにインターネットを通じたコミュニケーションの危険性について理解したことをワークシートに書き出している。</p>

6 資料

【アンケート項目】

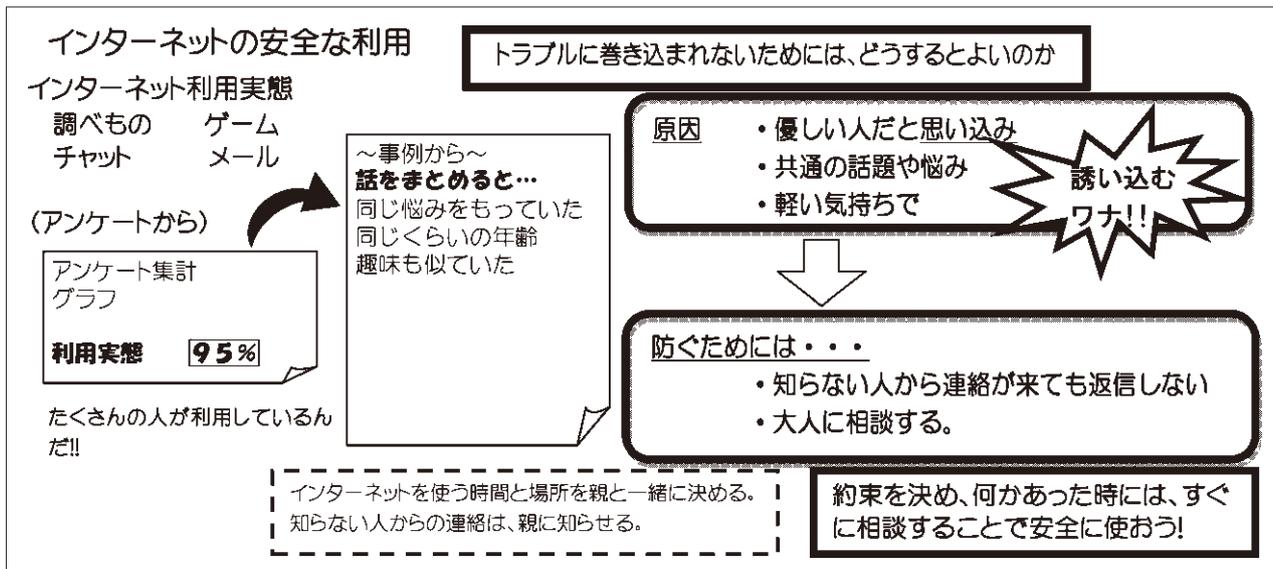
- インターネットを利用していますか？
- どんな時にインターネットを利用しますか？

【資料1】総務省 インターネットトラブル事例集

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

○「6. 誘い出しによる性的被害や暴力行為」

【板書 (例)】



【ワークシート (例)】

インターネットの安全な利用について考えよう!

○今日の学習を通して感じたことを書こう!

- ・優しい人だと思っても軽い気持ちで返信してはいけないと思った。
- ・共通の話題や悩みをもっても、相手は年齢や性別を偽っている場合もあるので、相談してはいけないと分かった。

など

年 組
名 前

○これからの利用の仕方について決めよう!

- ・知らない人から連絡が来ても返信しない。
- ・親と約束事を決めて利用する。
- ・何かあった時には、大人に相談する。

など

保護者の方へ

子どもたちにインターネット利用の危険性について知らせ、利用の仕方について考えました。ご家庭でも利用の約束を決めるなど、子どもたちの安全な利用にご協力いただければと思います。総務省HPから「インターネットトラブル事例集」として掲載されているものです。参考にしてください。

主なSNSやゲームサイトには、ミニメール機能があります。気軽に連絡が取り合えるので、見知らぬ人に親近感を持ちやすい傾向があります。しかし、性別や年齢を偽ることもできます。実際に会うと、まるで別人、脅迫などトラブルに巻き込まれることがあります。日常生活の中でも、携帯電話やスマートフォンの取り扱いに注意すべきことがあります。それは、たとえ信頼する友人・交際相手であっても、あまりにも私的な画像や動画は撮影・送信し合わないということです。相手との関係が悪化した際、ネット上に画像や動画を公開されてしまう可能性があります。平成26年11月には「私事性的画像記録の提供被害防止法」が施行され、いわゆる「リベンジポルノ」を法的に取り締めることが可能になりましたが、インターネットに流出した画像や動画は、私的なものであるほど簡単に拡散し、回収、消去することはほぼ不可能です。

気を付けること

子供

- a. 知らない人からのミニメールには返信しない
- ミニメールでのやり取りにより、相手に親近感を抱き、冷静な判断を失うことがあります。安易な気持ちで、知らない人からのミニメールに返信しないようにしましょう。
- ミニメールで知り合った人に電話番号やメールアドレスなどの個人情報をお教えはいけません。
- b. あまりにも私的な画像・動画は送信しない、撮影させない
- 信頼できる友人であっても、性的な画像や動画は撮影させない、送信しないように。データは容易に複製・共有されてしまう危険性があります。
- c. トラブルにあったら相談する
- トラブルにあつた場合は、すぐに保護者や教師、スクールカウンセラーなど周りの大人に相談しましょう。

保護者

- d. フィルタリングを適用していても一部のSNSやゲームサイトは利用可能であることを注意する
- フィルタリングを適用していても、初期設定のままでは、一部のSNSやゲームサイトは利用できます。必要に応じて、個別に設定を行いましょう。

○これからの利用の仕方について決めよう!

- ・知らない人から連絡が来ても返信しない。
- ・親と約束事を決めて利用する。
- ・何かあった時には、大人に相談する。

など